

臨床分離微生物の病原性・薬剤耐性・系統に関する解析

1. 研究の対象

2000 年 1 月 1 日以降 2030 年 3 月 31 日までに当院で何らかの感染症が疑われて臨床検体（血液、喀痰、尿など）が提出され、何らかの病原体が分離された方

※これに加えて先行研究（課題番頭 1500「臨床分離微生物の病原性・薬剤耐性・系統に関する総合的解析」）に該当する方についても本課題の対象となります。

2. 研究目的・方法

目的：感染症とは細菌・ウイルスなどの病原体によって起こる病気です。病原体が病気を起こす力の強さ、薬が効かない性質、および系統を把握することは感染症の制御のために非常に重要です。本研究では、感染症が疑われた患者さんに由来する病原体について次世代シーケンサなどの先進技術も活用して解析することで、病原体の動向を把握してその背景を解明し、よりよい感染症診療の実現につながる知見を得ることを目的としています。

方法：カルテから抽出した情報を解析して感染症の経過に関する情報を解析します。あわせて病原体の菌株を対象として、病原性（病気を起こす力）、薬剤耐性（治療薬が効きにくくなる性質）、系統（病原体の由来と伝播経路が推定できる場合があります）についてその性質を詳細に確認したり次世代シーケンサを活用した遺伝子解析を行ったりして解析を行います。

研究実施期間：研究実施許可日～2030 年 3 月 31 日

試料・情報の利用及び提供開始予定日：2025 年 11 月 27 日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢・性別、診療科・病棟、病歴、血液・尿・髄液などの検体検査、血液・喀痰・尿などの臨床微生物検査、心電図・超音波検査などの生理検査、X 線・CT・MRI 画像などの画像検査、手術記録および病理検査、受けた医療処置および投与された治療薬の情報など

試料：診療または感染制御上の目的で提出された各種検査検体（血液、喀痰、尿など）から分離された病原体

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

秋田市広面字蓮沼 44 番 2

0 1 8 （ 8 8 4 ） 6 2 4 8

秋田大学医学部附属病院 感染制御部

部長 嵯峨 知生（研究責任者）

試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称：

国立大学法人秋田大学大学院医学系研究科

研究科長 宮腰 尚久